

脳神経外科における脳腫瘍疾患の包括的研究

について

本調査研究の概要を以下に示します。【対象】に該当すると思われる方で、本調査研究に関するお問い合わせや調査の対象となることを希望されない場合は、担当医にお申し出ください。

【本調査研究の目的】

脳腫瘍の種類は多岐にわたり、良性のものから悪性のものまでさまざまです。良性脳腫瘍は、通常は周囲の組織にほとんど影響を与えないことがありますが、悪性脳腫瘍は周囲の組織に浸潤し、機能を妨げたり、命にかかわる危険があります。

良性脳腫瘍の代表的な疾患として髄膜腫や聴神経腫瘍、下垂体腺腫などが挙げられます。悪性脳腫瘍は神経膠腫や膠芽腫といったグリオーマや転移性脳腫瘍などが挙げられます。

これらの腫瘍は圧排や周囲の脳への浸潤や浮腫性変化により様々な神経症状を呈します。

通常、手術や放射線治療、化学療法によって治療されたり、経過観察や対症療法が選択される場合もあります。

治療計画は患者の個別の状況に応じて決定されるべきであり、複数の治療法を組み合わせることもあります。治療の目標は、腫瘍の完全な除去や制御、症状の軽減、生活の質の向上などに焦点を当てます。

これら脳腫瘍疾患の臨床・画像的特徴や治療内容・予後を包括的に研究することで、診断・治療技術の向上とともに、脳腫瘍疾患患者の予後改善につながることを期待されます。

【対象】

当院脳神経外科で診療を受けたすべての脳腫瘍疾患の患者さんを対象といたします。

【情報の利用目的及び利用方法】

脳神経外科における脳腫瘍疾患の臨床・画像的特徴や治療内容・予後を包括的に研究することで、診断・治療技術の向上とともに、患者の予後改善につながることを目的とし、電子カルテ、紙カルテから通常の医療において取得された診療情報を用い、統計学的に解析します。

【調査項目】

採血・尿・髄液・病理組織検査データ、画像（X線画像、CT、MRI、エコー、脳血管造影、RI、心電図）、手術記録、手術時のビデオ（手術手技や使用した使用器材、解剖学的事項）、放射線治療記録を後方視的に調査します。

なお、必要な情報のみを統計資料として集計しますので、患者さんのお名前など個人を特定できる情報が明らかになることはありませんので、ご安心ください。

【調査対象期間】

2000 年 4 月 1 日 ～ 2024 年 3 月 31 日

【利用する者の範囲】

関西労災病院 脳神経外科

豊田真吾、小林真紀、村上知義、阿知波孝宗、山田修平、東原一浩、奥波羅秀企、大河内康成、中島滉一

【試料・情報の管理について責任を有する者】

関西労災病院 脳神経外科 豊田真吾

【研究期間】

実施許可日から 2026 年 3 月 31 日（調査状況により調査期間を延長する可能性があります）

【当院の研究責任者】

豊田真吾

関西労災病院 脳神経外科科

〒660-8511 兵庫県尼崎市稲葉荘 3-1-69

TEL: 06-6416-1221（代表）

FAX: 06-6419-1870（代表）

E-mail: stshto@aol.com